



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長 / 鈴木 清詞 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 江松 央統
 ■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第 1176 回

2016年5月10日(火) 雨 第36回

～ 青少年奉仕月間 ～

斉唱 君が代、我等の生業
 出席 会員 56名 (出席率算入人数 52名)
 出席 47名 出席率 90.38%
 前々回補填率 93.88% (4月12日分)
 ゲスト 社会福祉法人 日本介助犬協会
 介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」
 広報部 後藤 優花さん
 儀貝 歩美さん
 米山奨学生 楊 光心さん

5月の誕生日

2日 川瀬 悟さん 22日 長尾 浅吉さん

配偶者誕生日

10日 久米 ゆりさん 10日 鈴井 富貴さん
 14日 白藤由利子さん

5月の結婚記念日

17日 小畷 招啓さん 23日 有川 英敏さん

会長あいさつ

会長 鈴木 清詞さん

皆さま、こんばんは。久々の例会で、本日は席がないほどのご出席をいただきまして誠にありがとうございます。長い連休の間に、私も東北の方へ旅行をして参りました。桜を観に行ったのですが、残念ながら4月中旬に満開になっていたの、行った時には葉っぱになっており、何をしに行ったのかという感じで帰ってきました。7～8年前にも行ったのですが、その時は5月の連休で満開、角館のしだれ桜は最高だったのを覚えております。皆さまそれぞれ楽しく過ごされた事と思います。



本日は委嘱状など色々ありますので、順番にこなしていきたいと思っております。最初に喜寿のお祝いを長尾浅吉さんにお渡ししたいと思います。それから米山記念奨学会から感謝状・委嘱状が届いております。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 先程17時30分から5月度の理事会が行われまして、久米伸治さんの出席免除申請が承認されました。
2. 来週5月17日(火)の例会はゆったり例会です。ルーセントタワーのレストラン「ラ・エテルニータ」で、18時30分から開催されます。宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 社会福祉法人 日本介助犬協会広報部 後藤さん 儀貝さん 卓話を楽しみにしております。

加藤 英敏さん 水野 俊男さん 坂田 信子さん
 杉山 隆秀さん 中村 勝さん 日下智重子さん
 佐々木 暢さん 坂本 晃さん 宮崎 良一さん
 鈴木 清詞さん 久米 伸治さん 細井 俊男さん
 加藤 宜之さん 児島 徳和さん 入谷 直行さん
 長尾 浅吉さん 川瀬 悟さん 猪村 美之さん
 三浦 和人さん 本多 利郎さん 森田敏二三さん
 白藤 憲雄さん 木下 福郎さん 東山 直史さん
 犬飼りさ枝さん 安藤 修さん 大橋さなえさん
 大平 明子さん 朝比美和子さん 鈴井 一博さん
 武藤 正行さん 江松 央統さん 小野 雅之さん
 三浦 隆さん 佐々木元彦さん 新原 尚さん

- ◆ 中日ドラゴンズがジャイアンツに3連勝してセリーグ首位になりました。三日天下でも嬉しいです。
伊藤 圭一さん

本日合計 39,000円 累計 895,000円

委員会報告

- 親睦活動・家族委員会 委員長 大平 明子さん

皆さま、こんばんは。来月14日(火)のIDMのお知らせをします。会場はエルダンジュナゴヤという結婚式場です。ゲストにシャンソンとタンゴ歌手のなかにし陽子さんをお迎えします。会場が名古屋駅から少し離れておりまして、大変分りにくい所にありますので、タクシーを親睦活動家族委員会から出します。皆さままで乗り合わせて行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

名古屋マリオットアソシアホテル2階車寄せタクシー乗り場までお越しください。1人で乗ってしまった場合のタクシー代金はお出しできませんので、ご了承ください。

■環境保全・保健問題委員会

委員長 杉山 隆秀さん

皆さま、こんばんは。前回、今回と緑の羽根募金に協力していただきましてありがとうございます。集計して寄付させていただきたいと思いますが、まだ募金箱が置いてありますので、まだ寄付されていない方、2回入れてもいいという方がありましたら、是非協力を宜しくお願い致します。

■次年度会員増強・職業分類委員長

児島 徳和さん

本日、テーブルの真ん中にレジュメを置かせていただきました。次年度の会員増強にあたりまして、増と強の2つの意味合い、既存の会員の退会防止及び充実、それから新たな新会員の増と両方を鑑みまして、クラブに対する満足度が高ければ高いほど、おそらくそれは活発に推進されるであろうと思われました。

そこで同好会の新設を提案させていただきます。市内24クラブある内、参考までに出させていただきました。やはり新入会員が多いところは同好会も大変充実しております、東南さんや南さん、名駅さんは毎年10～15人ほど入会されます。そんな事を鑑みまして、新たにこんな同好会を作りたいというご希望がありましたら、是非お配りした用紙に書いていただきたいです。

2番目に、自分は立ち上げたい事はないけれども、こんな同好会があればいいという希望があれば、2枚目のレジュメを参考にしてご記入いただければ有り難いです。

3番目、既存の同好会について何かご意見等ございましたら、同じくご記入いただきまして、できましたら今月中に事務局へFAXまたは提出していただけたらと思います。

来月新たに作る同好会等が固まった段階で、皆さまにご案内をさせていただきますので、次年度はできましたらどれかの同好会に属して、クラブライフをより充実させる又はもっと親睦を深めるというような意味合いで、この主旨にご賛同いただければと思いますので、宜しくお願い致します。

同好会報告

■混声合唱団

川辺 清次さん

本日の出席袋に、4月21日（木）に開催しました名古屋地区RC合唱団連合会の東日本大震災チャリティーコンサートの御礼とご報告を入れさせていただきました。

今回700,000円も集める事ができましたので、盛田会長の発案に依り、その半分を地震のあった熊本、大分のあしなが育英会に出す事になりました。内訳に関しましては、700,000円の内、名南RCは皆さまのおかげをもちまして、73,000円集まりまして、そちらに送金致しました。3枚目は決算書が入っておりますので、参考にしていただければと思います。

なお、5月28日（土）に別府で全国大会を行う予定でしたが、今回は地震から日が浅いので見送る事に致しました。そのかわりにその金額の一部からも義援金として送らせていただければと思っております。皆さまのご支援、誠にありがとうございました。

喜寿のお祝い

長尾 浅吉さん

感謝状・委嘱状授与

感謝状

名古屋名南RC 大平明子殿

貴殿は公益財団法人ロータリー米山記念奨学生のカウンセラーとしてご奉仕くださいました。日本と世界の信頼が益々深められることを願っています。ここに貴殿のご尽力に対し深く感謝の意を表します。

2016年3月

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 理事長 小沢一彦



委嘱状

2760地区 名古屋名南RC 加藤宜之殿

貴殿を下記奨学生のカウンセラーに委嘱申し上げます。

奨学生 楊光心

奨学期間 2015年4月1日から2017年3月31日

学校名 名古屋市立大学

2016年4月1日

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 理事長 小沢一彦



アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

外部卓話

職業奉仕委員長 武藤 正行さん

職業奉仕委員長の武藤でございます。去る3月14日に地区の職業委員長会議がありました。テーマは各クラブの職業奉仕活動についてでして、5クラブ代表で発表がありました。

当クラブは裁判所の見学会、他の4クラブもクラブ内の企業訪問、中京競馬場の見学会など見学会が中心でして、正直申し上げまして私自身もこれが奉

仕活動なのかと若干疑問に思っておりました。5番目の東山RCが本日の介助犬の支援を行っているという事で、私自身も聞いていて目から鱗が落ちる思いがしました。

翌日ちょうど当クラブの理事会がございましたので、そこで報告しましたら、早速本日の卓話をお願いするようというのがいきさつでございます。途中で募金箱を回しますので、そちらもご協力を宜しくお願い致します。

■肢体不自由者の自立支援をする介助犬

社会福祉法人 日本介助犬協会 広報部
後藤 優花さん・磯貝 歩美さん

ただいまご紹介に預かりました、日本介助犬協会からやってまいりました広報部の職員と申します。そして同じく広報部の後藤、そして今日は犬を1頭連れて来ております。

先程から足元で静かに寝ておりましたが、この子は名前をハーミーといいます。今4歳のラブラドルレトリバーの女の子です。長久手市に「介助犬総合訓練センターシンシアの丘」という施設があります。実は昨年9月に秋篠宮両殿下がお越しくださいませ、その前でデモンストレーションをした子です。後ほどハーミーから介助犬のお仕事紹介をさせていただきますと思いますが、その前に少し介助犬の事についてお話しさせていただきます。

私達日本介助犬協会は、現在2箇所の拠点を持って活動しております。1つが愛知県の長久手市、そしてもう一つが神奈川県横浜市にも本部という事でビルの一画をお借りいたしまして、事務作業のみで犬はおりません。経理や総務の者が勤務をしている所がございます。

愛知県長久手市にあります「介助犬総合訓練センターシンシアの丘」につきましては、今から7年前の2009年に建設されました。まだまだ若い施設ではあるのですが、毎年大変多くの方に足を運んでいただいております。介助犬もまだまだ少なく、全国で74頭しかおりません。それに対しまして、介助犬と共に生活が出来ればいいのと言われていた障害者の方々は約15,000人いると言われていた。本当に数が足りていないのが、この介助犬でして、その介助犬と暮らせる障害者の方が1人でも多くなる社会になるよう、私達は啓発活動や、介助犬の育成を行っております。まず、私達の協会の紹介で7分ほどの映像を持ってきました。そちらをご覧いただきたいと思っております。

介助犬というのは、手足に障害がある方の日常生活をお手伝いする犬の事です。2002年に出来た身体障害者保護犬法という法律できちんとした認定制度が定められています。どんなお手伝いをするかというと、落としたり壊した物を拾うプラス手が届かない所にある物を持って来る、それを応用して冷蔵庫を開けて中からペットボトルを持って来るなどです。一番障害者の方にとってニーズが高いのが、携帯電話や電話の子機を緊急時、例えば倒れてしまったとか転んでしまったとか、車から車椅子への移動に失敗して倒れてしまったといった場合に、携帯電話が手元になくても探して持ってきてくれます。その他にも車椅子の方、電動車椅子の方だけではなくてリウマチで歩行に障害がある方、股関節が悪くて歩く事に補

助が必要な方などの歩行のお手伝いなどもします。それぞれの障害者のニーズに合わせて訓練をされるのが介助犬の大きな特徴です。

私達が行っている訓練は、ファントレーニングと言って、犬が作業そのものを楽しみと思う、人と一緒に作業する事が楽しいと思えるような訓練方法を用いています。私達は褒めて犬達に教えるという事を基本としているので、動作や作業を教える時には段階を細かく区切り、少しずつステップを上げていって犬に分かりやすく、そして犬が成功するように導いて褒められる環境を作ってトレーニングする事を心掛けています。また、最終的には犬を扱うのは私達健常者ではなく障害のある方なので、それを常に忘れないよう障害者が扱っても扱いやすいよう訓練する事を気にかけています。介助犬の使用者となる方とその方のパートナーとなる候補犬と一緒に、寝泊まりをしながら訓練を受けていただく共同訓練というものも行っていきます。その際には理学療法士や作業療法士といったリハビリテーションの専門職にも入ってもらい、その方にあった肢管理動作や介助作業を行うようにしています。

日本介助犬協会は、平成7年に活動をスタートしました。身体障害者補助犬法ができてから平成16年に、社会福祉法人日本介助犬協会として新たなスタートをきった法人です。理学療法士・作業療法士もおり、訓練士と共に介助犬を通して手足の障害がある方の、リハビリテーションの一環としての自立・社会参加支援を行っている協会です。

介助犬総合訓練センターは、平成21年に愛知県長久手市に設立された介助犬の訓練センターです。全国で唯一の介助犬訓練施設です。ここのセンターは犬の訓練だけではなく、障害を持った方が介助犬と共に新たな人生をスタートする、そういうリハビリテーションをする施設であると思っております。私達は訓練をしております。

介助犬訓練事業は皆さまからのご寄付に頼っております。個人の方、企業・団体の方それぞれが社会貢献の一環として、介助犬に寄付をしていただいております。介助犬を通して障害者の方が自立・社会参加できるようになる為に、皆さまからいただいた大切なご寄付を使わせていただいております。

それから私達の事業は本当に多くのボランティアさんが必要なのです。繁殖犬の預かりボランティアさん、パピーホーム、そして介助犬にならなかった犬達、これをキャリアチェンジ犬と呼んでおります。こういった犬達を欲しいという方々もボランティアとして、私達の事業をお手伝いして下さっています。だから訓練センターをきれいに保てるのもボランティアさんのおかげですし、多くのイベントで沢山の方々に我々を知っていただくというのもボランティアさんの大きな力です。

日本介助犬協会のモットーは「人にも動物にも優しい社会を目指して」です。犬は本当に人により添って人を元気にしてくれる素晴らしい動物です。障害を持ってなかなか前に向けない、自分の人生はこんなものだと後ろ向きになっている方が、介助犬と共に暮らす事で前向きになって、この子ともっと色々な所に出かけたい、本当にこの子と会えて良かった、生きていて良かったと思えるよう、1人でも多くの障害を持った方が介助犬と共に元気になれ

るような事業を、私達がもっと多くの方に介助犬を提供し、実現していきたいと思っています。

映像に映っていました「介助犬総合訓練センターシンシアの丘」という所で、本当に多くの方のご支援・ご協力を頂きながら介助犬の育成を行っております。介助犬の使用者が3人ほど映っていましたが、皆さま笑顔で映っていたのが印象的であったと思います。ですが、あの方々も介助犬と暮らすまでは寝たきりであったり家で引きこもり気味であったり、1週間に1回カーテンを開けるかどうか、1ヵ月に1回外に出るかどうかといった生活を送ってらっしゃいました。

そこに介助犬が来る事によって、介助犬が何か助けてくれる事によって自信が出てきて、それが外出できる自信に繋がります。外出が1回成功しますと、もっと遠くまで行ってみようという事で、今では前は引きこもりがちの生活をされていた方が、飛行機に乗って海外まで旅行に出掛けたりしています。映像に映っていた方も大阪に住んでいるのですが、色んなイベントがあるのでシンシアの丘まで遊びに来てくださいと言うと、二つ返事で来てくださって、本当にアクティブな生活を送られております。介助犬と言いますのは、手や足に障害のある方を手助けしている犬と定義がつけられておりますが、機能的な部分だけではなく精神的な部分でも大きな役割を果たしていると考えております。1人でも多くの障害者の方に笑顔を届ける仕事というのが、介助犬訓練士ではないかと私達は考えて活動しております。

それでは実際に介助犬の仕事というのを紹介していきたいと思います。前のほうに車椅子と冷蔵庫をご用意しました。

それでは一つずつご紹介をしていきたいと思えます。まず、落とした物を拾うのは代表的なお仕事になります。手足に障害のある方の中には、物を掴む力、握力が弱っている方が沢山いらっしゃいます。物を落とした時に拾おうとして手を伸ばして前屈みの姿勢になりますと、腹筋・背筋が弱っている方もいらっしゃいますので、このまま車椅子から落ちてしまう、このままの状態で元に戻れなくなってしまう方もいらっしゃいます。ある方は、家の玄関の目の前で鍵を落としてしまい、それが拾えない為に家族が帰ってくるまでずっと待ってなくてはならなかったという経験をしています。ですが、そこで横に介助犬と一緒に歩いていければ、すぐに落とした物を拾って手元まで持ってきてくれます。ハーミーが「テイク」の指示でしっかりと落とした鍵を拾いに行きました。しっかりと啞えて元の所に持ってきてくれました。皆さま、大きな拍手をありがとうございます。

介助犬だからと言って特別賢いですとか、本当にお利口な犬というわけではありません。一般のワンちゃんと同じで遊ぶ事・食べる事が大好きです。その遊びが大好きという所を利用して、私達は介助犬に向けてトレーニングをしております。

続いては、もっと小さくて落としやすい物、小銭を拾って持ってくる場所もご覧いただきたいと思えます。手足に障害のある方はただでさえ物を掴む力が弱くなっているのに、小銭は非常に掴みにくいという話をよく伺っております。それで落として

しまいやすいのですが、500円玉や100円玉など大きなお金ですと拾ってくださいと言いやすいのですが、1円玉や5円玉など小さな額になればなるほど、なかなか足を止めて拾ってくださいと言いつらいというお話もよく伺います。

そんな時も横に介助犬がいてくれれば、拾って手元まで届けてくれます。今日は10円玉を持ってきました。これをハーミーに拾ってもらいたいと思えます。10円玉が遠くまで転がっていきましたね。ハーミーがしっかりと10円玉を見つめております。「テイク」の指示で10円玉を拾って、前歯と舌を使って器用に拾ってくれております。落としてしまったのもう一回拾っております。もう一度しっかりと指示を出しました。「テイク」の指示で、今はしっかりと啞えておりますね。啞えにくいので落としてしまいましたが、もう一度拾ってもらいましょう。しっかりと目を合わせて、「テイク」という指示を出しております。拾って上手に手元まで持ってきてくれました。皆さま、温かい拍手をありがとうございます。

今、ハーミーはなかなか拾っていませんでしたが、特に後藤は怒るという事はしておりませんでした。介助犬はよく厳しい訓練をしているのでしょうかと言われるのですが、そうではありません。犬達が楽しくなければお仕事を楽しんでしてくれませんので、ゲーム感覚で犬達が楽しめるようにトレーニングをしていきます。間違った時には怒るわけではなく、何が正解かという事をしっかりと根気強く教えていってあげます。そして出来た時には沢山褒めてあげるというトレーニングをしております。

今日はハーミーがとても張り切っていますね。続きまして、介助犬の特徴の一つとしてお家の中での作業というのがあります。靴と靴下を脱がせて、脱がした靴下を洗濯カゴに入れるという作業をご覧ください。手足に障害がある方が靴や靴下を脱ごうとすると、どうしても前屈みになる必要があります。そうすると、先程と同じく転倒の可能性に繋がりますので、家族の方をお願いするというのが大半です。しかし、家族の方が忙しそうにされている、又は声の届かない遠い場所にいるなどで、なかなか自分がやりたい時にやる事ができない、我慢した生活をしている方もいらっしゃいます。そんな時も介助犬がいてくれれば、すぐに自分がやりたい事を出来るようになります。あとは介助犬がしてくれれば、自分が出来た事のように思えるといったお話も聞いております。それではお願いします。

まずは「スルー」の指示で足を組ませてくれます。その後、「テイク靴」の指示で靴の踵の部分を啞えて脱がせてくれます。同じく靴下の指示で靴下を啞えて、しっかりと靴下を洗濯カゴに入れる事が出来ました。今ご覧いただきましたように、靴・靴下の踵の部分を啞えて脱がせてくれていました。靴と靴下を同じ強さで噛んでしまいますと、脚を怪我するおそれがありますので、靴下は布の部分だけ啞えてという事も教えております。

それでは、続いてこちらの小さな冷蔵庫を持って来ました。この中には冷やしたペットボトルが入っております。手足に障害のある方の中には、ご自身で体温調節が上手くできないという方がいらっしゃいます。これからの時期、体温を下げる為に冷たいお水を沢山飲んでくださいとお医者様から言われて

いる方も沢山いらっしゃいます。元気な時には冷蔵庫まで行く事が出来たとしても、夜寝ている時や具合が悪い時にわざわざ車椅子に乗り移って冷蔵庫まで行くというのは非常に大変な動作になります。それを大変だからと少し我慢してしまい、気付いたら病院にいたとか、救急車で運ばれていたという経験をされている方もいらっしゃいます。そんな時も横で介助犬が寝ていてくれれば、すぐに冷たい飲み物を手元まで持って来てくれます。

それではお願いします。「オープン冷蔵庫」の指示で、まずは冷蔵庫の扉を開けます。中からペットボトルを取り出したら、「プッシュ」の指示でしっかりと扉の後ろに回って、鼻で冷蔵庫の扉を閉めてくれました。皆さま、温かい拍手を本当にありがとうございます。今はこの距離で行っておりますが、実際には2階の寝室から1階の冷蔵庫までペットボトルを取りに行くという仕事をしている子もおります。最後に冷蔵庫の扉が開け放しだと電気代がかかってしまいますので、しっかりと閉めて帰ってきてねという事も教えております。

それでは、最後に携帯電話を探して持つてくるという作業をご覧いただきたいと思います。こちらは緊急時の連絡手段の確保と言いまして、介助犬に最も必要とされている仕事の一つです。何故かと言いますと、例えば車椅子に乗っていらっしゃる方が家に1人である時に、何かの拍子に車椅子から落ちてしまった、そんな時に手元に連絡が出来る物が何もなければ、誰かに見つけてもらうまでずっとそのままのしか方法がありません。実際にそういった心細い経験をされている方が沢山います。そんな時に介助犬が携帯電話や電話の子機を手元に持って来てくれさえすれば、誰かに助けを求める事が出来ます。

これは障害者の方ご自身だけではなく、その方のご家族の安心にも繋がる大事なお仕事になります。ですが携帯電話は持ち運ぶ事が出来ますので、いつでも決まった場所にあるとは限りません。今日も前のスペースを少しお借りしまして、ハーミーが見えない所に携帯電話を置いて、それを探して来てもらいたいと思います。

それでは私が置き場所を決める間、ハーミーには少し目隠しをして待っててもらいたいと思います。ハーミーはご飯が大好きですので、今、後藤が右手でご飯を持っているのですが、尻尾を振って食べている間に反対側に携帯電話を置かせていただきたいと思います。今、カタッと音がしたので反対側でも音を立てまして、目隠しを外してください。それでは、これからハーミーが携帯電話を探しに行きます。もしかしたら皆さまのほうへ携帯電話を探しに行くかもしれません。そんな時に可愛いからと言って触ったり声を掛けられたりすると、携帯電話を探すという事をすっかり忘れまして、皆さまのほうへ遊びに行ってしまうので、近くに来た時には是非、心の中で応援してあげる優しい無視というのをお願い致します。

それでは、私がリードの端っこをもちまして、ハーミーに探しに行ってもらいましょう。「テイク携帯」の指示で、最初にこっちで音がしたなと探しに来ましたね。しっかりと携帯電話を見つけて手元まで持って来てくれました。今ご覧いただいたのはほんの数秒ではございましたが、ハーミーが非常に楽しそうに尻尾を振りながら探して来てくれたのを

ご覧いただけたいと思います。これも宝探しゲームのような形で教えておりますので、犬達にとっては楽しい遊びの一つになります。

あとは「鼻を使って匂いで携帯電話を探しているのですか?」とよく言われるのですが、この子達は目を使って携帯電話の四角い形を探して持って来てくれます。ですので、こういった形の携帯電話をハーミーが見つかるより先に床に置いてあれば、それを持って来てくれます。何でもいから何か連絡できる物を持って来てという事で、四角い形を覚えさせております。

もう一つ、最近ですとスマートフォンが普及しておりますので、必ずストラップをつけて、本体ではなくてストラップの部分を咥えて持って来てねという事も教えております。皆さま、温かい拍手をありがとうございます。

今ご覧いただきました介助犬のお仕事は、ほんの一部になります。実際にはパートナーとなる障害者の方の病気や事故の程度は様々です。例えば、物を渡す一つにしても正面に持って来るのか右側・左側に持って来るのか、その方のご希望は違います。その方に合わせてオーダーメード的に訓練がされているのが介助犬の特徴の一つでもあります。こういった介助犬は、最初に申し上げましたように全国で74頭しかおりません。本当に足りていないというのが現状となります。そしてもう一つ、認知度が低いというのが課題となっております。今日はハーミーを見ていただきましたので、介助犬というのは手足に障害のある人を手助けしているという事をご理解いただければと思います。

ちなみに名古屋駅の周辺は盲導犬が非常に普及しており、その募金活動もされているので、街を歩いているとまだまだ盲導犬と言われる事が沢山あります。ですので、皆さまには介助犬というのがいるという事をご理解いただければと思います。

そして、こういった介助犬を1頭育成するにあたりまして、だいたい2,400,000円~3,000,000円ほどお金がかかっております。しかしながら障害者の方には無償貸与、お貸し出しという形でお渡しをしております。では、そのお金はどこから出て来るのかと言うと、皆さまからいただきますご寄付や募金、チャリティーグッズを販売させていただいているのですが、そういった売り上げから9割以上を賄わせていただいております。

本日も募金箱を回させていただいており、大変ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。そういった募金箱を置いていただける場所も大募集しております。募金箱の中にお金が入る事も目的としては勿論あるのですが、それ以上に募金箱に「介助犬」と大きく書かせていただいておりますので、介助犬という文字が色んな方の目に入るというのも目的として、置いていただける場所も大募集しております。介助犬の育成は、多くの方のご支援がなければ本当に成り立たない事業になります。

昨年は有り難いことに2組の介助犬のペアが誕生いたしました。そして、今年も4月末から1組の介助犬のペア、介助犬使用者と介助犬となるべく合同訓練が始まっております。ですが寄付で成り立っておりますので、いつこの事業が出来なくなるかという事が本当に分からないものがございます。皆さまにはまず介助犬を知っていただきまして、ご支援・ご

協力をいただければと思っております。今日は本当に貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

日本介助犬協会のお2人方、どうもありがとうございました。既に実施されている方もいらっしゃるかもしれませんが、企業メセナという企業による社会貢献活動があります。ちょうどリーフレットを開けていただきますと、年間一口50,000円の法人会員もあるようです。もしよろしければご協力をいただけるとありがたいと思います。



■ 5 月度理事会 議事録 ■

報告者 細井 俊男さん

日時 2016年5月10日(火) 17:30～
場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F『パイン』

出席者 鈴木、有川、東山、木下、坂本、
児島、宮壽、細井、白藤、鈴木、
水野、佐々木、朝比、大平、山本
江松

18名中16名参加

◎審議事項

一、出席免除申請の件 <幹事 坂本 晃さん>
・久米 伸治さん 出席免除申請 ⇒ 承認

◎協議事項

一、次年度同好会の件
<次年度会員増強・職業分類委員長 児島 徳和さん>
・同好会を増やすためにアンケートをとる。
次回理事会にて、報告をする。

◎報告事項

一、6/21 クラブフォーラムの件
<会場運営・プログラム委員長 山本 郁矢さん>
・内容については、年度によって違うため、次回理事
会にて決定する。

一、熊本地震義援金の件 <幹事 坂本 晃さん>
ガバナー事務所より依頼の熊本地震災害義援金に
100,000 円送金済み
内訳
4/19 募金 26,000 円、社会奉仕委員会 72,812 円、
ニコボックス 1,188 円

※次回 6 月度理事会

6月7日(火) 17:30～
名古屋マリオットアソシアホテル
17F「桐」

第 1178 回例会 (5 月 24 日) のご案内